



いわて生協 復興支援活動ニュース

2018年7月号

2018年6月28日発行

いわて生協 組合員活動チーム
電話：019-603-8299
FAX：019-687-1117

震災を忘れない取り組み ハートのタペストリー

多くの内陸の組合員のみなさんが「震災を忘れない」「これからも応援します」のおもいを込めてハートの布に名前を書いてタペストリーにして、宮古、釜石、けせんの各コープへ届け「コープ総代会」と「通常総代会」で掲示しました。



釜石コープ総代会での風景

2000個以上のハートが集まった
タペストリー



いわて生協 復興支援文化企画

シンセサイザー&二胡 初夏の演奏会

5月24日に宮古、25日に陸前高田で行いました。シンセサイザー演奏者の滝沢卓さん、二胡奏者の張鶴(ちょうかく)さんとのコラボコンサートです。滝沢さんは、震災後何度も活動拠点の富山県から、仮設住宅や公民館で演奏会を開いていただいています。張さんも富山県で活動をしています。

以前から被災地での演奏を希望されており、2017年滝沢さんと一緒に沿岸で活動をしました。当日は、ホールに入りきれないくらいの方が演奏を聞きに来ていました。



参加された方の感想

シンセサイザーの広がりのある音と初めてまじかに見る二胡の音でゆっくりした時間が流れていく感じでとても癒されました。

音楽は本当に人の心を穏やかにやさしくしてくれますね。皆さん色々な境遇の中、頑張っているのだと思いました。「私1人だけじゃないんだ。また明日から頑張って生きていかないと！」

ジブリの世界にいるように感じた。やさしい気持ちになれました。生きるということを見直すことが出来ました。お二人の人柄が感じられたコンサートでした。本当にありがとうございました。

ふれあいサロン



今月のサロンの様子



～釜石市 野田西仮設住宅～

～ふれあいサロン3500回開催～

いわて生協のふれあいサロンが釜石市野田西仮設住宅で、3500回目を迎えました！

今回は、長野医療生協のみなさんが血圧測定や体組成計で健康チェック、誤嚥性肺炎を予防する「嚥下体操」も行いました。



～宮古市 鯉ヶ崎仲町仮設住宅～

この会場でサロンを初めて1年。祝1周年お楽しみ会を開催。参加者のみなさんからは「1年が長く感じていたがサロンが始まってからは1ヶ月毎この日が来るのが楽しみに過ごすようになった」「全員の名前はわからないけど、顔は分かる。だから安心してここに通うことができる」「誘ってもらったことに感謝している」と嬉しい感想がありました。

～大槌町小鍬第16仮設住宅～

約6年半のサロン。今月で集会室が閉鎖になりサロンが最終回になりました。今回は脳活も歌声喫茶もせずに、公営住宅の話や引っ越し予定の人たちの話などをしました。集会室の閉鎖が急だったため、7月にみんなで町の中心にある飲食店でお別れ会をすることに決まりました。



食の支援



みなさん手際良く進めています！

<生協料理サロン>

味の素料理サロン

6月19日 佐原県営アパート 6人 スタッフ6人

※宮古での味の素さんとのコラボの料理サロンは、今回で最後になりますが、今後は釜石、けせんで実施していきます。

<ふれあいサロン>

ふれあいサロンでの食の支援は、4会場で開催し、ボランティアが12人と住民さん32人の参加でした。



バスボランティア



次回のバスボランティア日程について

日程：7月21日(土) 行先：陸前高田 作業内容：草取り、草刈り

集合場所：旧天昌寺組合員センター(旧介護・福祉センター“あい”)

6:30出発、17:00帰着予定

開門は6:00過ぎです。施錠していますので、6:00過ぎにお越しください。

キット作り

●○○● キット作りありがとう ●○○●

- ・牛乳パックの小物入れ（一関ふれあいサロン応援隊）
- ・なべしき（大槌町マストグループ）
- ・スポッとかぶれる三角巾（ちょボラくらぶ花巻）
- ・パッキン小物入れ（盛南12委員会（おとべ蘭香こ〜ぶ委員会、はなみずきこ〜ぶ委員会、湯沢こ〜ぶ委員会、古館こ〜ぶ委員会、紫波ひまわりこ〜ぶ委員会、くろ〜ばこ〜ぶ委員会、公園前こ〜ぶ委員会、南矢巾こ〜ぶ委員会、高田こ〜ぶ委員会、紫波町けやきこ〜ぶ委員会、西宮前こ〜ぶ委員会、三本柳こ〜ぶ委員会））
- ・グラニーバッグ（岩手郡キット作りボランティア）
- ・ピンクッション（北上パンプキンこ〜ぶ委員会）

支援を ありがとう



お菓子のご支援

- ・「コープいしかわ」さん
- ・「ユーコープしずおか」さん
- ・「生協しまね」さん
- ・「コープみらい」さん

キットのご支援

- ・「コープえひめ」さん

現地でのご支援

- ・5/25（金）大槌
「医療生協さいたま」さん
- ・6/19（火）釜石
「長野医療生協」さん



東都生協新人職員研修 in 岩手

東京の東都生協の新入職員研修が6月20日～22日まで岩手県内で行われました。いわて生協の震災復興の取り組みや被災地の現状を知り、生協職員としての役割などを学ぶ目的で今年で3年目となります。震災直後の共同購入センターの様子や組合員と職員の連携した取り組みなどの話や、現地の語り部による案内、ふれあいサロンへも参加しました。今回の新人さんは震災時は中学3年生。社会人となって、改めて防災や日頃備えておくべきことなどを学んで帰りました。



陸前高田市の栃ヶ沢アパートで移動販売「にこちゃん号」の販売の様子を見学。車両購入の募金生協の名前に「東都生協」の名前もあり、お役立ちを実感。



大槌町の小鎗14仮設ふれあいサロンに参加。震災直後の様子などお聞きしました。

参加された方の感想

7年間の歩みを見て、生協職員として災害時にどのような行動がとれるのか真剣に考える機会となりました

7年経った今でも震災の爪あとは大きく残っていて、改めて被害の大きさを実感しました。自分のこととして行動して行こうと思いました

ボランティアありがとうございました

3行レシビ⑮のホチキス止めボランティア、ありがとうございました。みなさんのおかげで無事に発行することができました。現在、沿岸コープやにこちゃん号、ふれあいサロンで配布を行っています。

